

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	横行結腸癌における腫瘍局在(肝弯/中央部/脾弯)別の遺伝子プロファイルの解析
	研究対象者	2010年1月から2023年3月の間に、横行結腸癌、脾湾曲部下行結腸癌と診断された患者で、神奈川県立がんセンター大腸外科で治療を行った患者を対象とする。比較対象とするために脾湾曲部下行結腸癌に関しても集積を行う。
	研究目的	横行結腸癌患者において横行結腸内の腫瘍局在(肝弯部、中央部、脾弯部)による分子腫瘍学的なプロファイリングを行い、更なる層別化による治療成績の向上を目指す。
	研究方法	既存試料(生検、手術で得られた大腸癌組織検体)・情報を用い、横行結腸癌の局在別の遺伝子プロファイルを解析する、単施設観察研究である。
	個人情報保護	本研究では、研究対象者本人を容易に識別できる氏名、患者ID、イニシャル、生年月日等は使用せず、本研究で使用する症例識別番号を定めて研究を遂行する。各患者と識別番号との対応表は施錠可能なキャビネットで、厳重に管理する。 症例識別番号のもとに、本研究で実施する調査解析結果を紐付けたデータベースを構築し、研究参加者間で共有して研究を進める。
研究期間	西暦2023年7月10日～西暦2028年12月31日	
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	[X]試料:	[ ]血漿、[ ]血清、[ ]全血、[ ]末梢血から抽出したDNA、 [X]病理検体(具体的に記載:大腸癌の生検検体、手術検体)、 [ ]尿、[ ]糞便、[ ]唾液、[ ]胸水、[ ]腹水、[ ]脳脊髄液、 [ ]毛髪、[ ]その他(具体的に記載:_____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X]性別、 [ ]既往歴、[ ]併存疾患、[ ]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、 [X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [X]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、[ ]看護記録 [ ]その他(具体的に記載:_____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	消化器外科 塩澤 学
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・消化器外科・井口健太 TEL:045-520-2222 FAX:045-520-2202 e-mail: <a href="mailto:igc.ken.surg@gmail.com">igc.ken.surg@gmail.com</a> 利用停止のお申し出は2023年12月31日までお願いいたします	